



だれでもピアノ[®]

1 事業の趣旨

2 事業概要

- (1) 目的
- (2) 対象
- (3) 構成（プログラム）＝活用方法、場面
- (4) ワークショップの実施概要
- (5) 継続的なレッスンの実施概要
- (6) 効果

3 実施詳細

- (1) 楽器の準備、楽譜・データ等の手配
- (2) ワークショップの準備と実施
- (3) 継続的なレッスンの準備と実施

4 現場の声

- (1) 参加者の感想
- (2) スタッフからのワンポイントアドバイス！

5 過去の実施実績

1 事業の趣旨

「だれでもピアノ[®] (特許 6744522)」は、東京藝術大学 COI 拠点が 2015 年にヤマハ株式会社と共同開発した、自動伴奏追従機能のついたピアノです。一本指でメロディを弾くと、伴奏とペダルが自動で追従して、熟練したピアニストのように華麗な演奏ができます。本ピアノは障がいのある児童・生徒の音楽教育に用いられる他、一般の子どもや成人向けのワークショップ、高齢者向けの継続的なレッスンシリーズなど、様々な活用が進められています。

また、ICT 技術を用いてオンラインによる遠隔演奏も実現しました。専用アプリの開発により、活用可能な楽器や機器、ユーザー数、ユーザー層と活用シーンの拡大を図っています。

2 事業概要

(1) 目的

障がいのある人や高齢者など、ピアノ演奏に心理的・物理的な距離をもつ人々が、ハンディを意識することなく本物の楽器演奏を体験し、また「演奏者」として自らを表現することで、幸福度を向上させることを目指しています。「だれでもピアノ」が社会包摂に有用なユニバーサルな楽器として、教育・文化・介護・医療など様々な社会資源を繋ぐアイコンとなることを願っています。

(2) 対象

「だれでもピアノ」は、ピアノを弾きたいという重度障がいのある少女の夢をかなえるために開発された楽器ですが、活用シーンの拡大により、ピアノ初心者の子どもから高齢者まで広範な人々が対象とされています。

(3) 構成 (プログラム) = 活用方法、場面

●ワークショップ・・・公共スペースなどでの演奏体験

イベント会場や人通りの多い場所に「だれでもピアノ」を設置し、特定または不特定多数の人々に演奏を体験してもらいます。レパートリーの中から好きな曲を選択、またはファシリテーターが体験者の個性や楽器経験値に合わせて選曲して、1～2曲を演奏します。

本物のピアノを弾いた経験がない、弾いてみたいがハードルが高いなどの人々が「だれでもピアノ」に気軽に触れることで、1曲の演奏を一人で完結できる喜び、本物の楽器を演奏する豊かさを味わうことができます。

●レッスン・・・継続的な練習

「だれでもピアノ」は、長く厳しい練習を積むことなく、ピアノ初心者が数回のレッスンで憧れの名曲を一人で弾くことができるようになる楽器です。

障がい者や高齢者が一定期間、継続的に練習を重ね数曲をマスターすることによって、自己肯定感や自己効力感を創出し、日常生活にハリを生み出すことが、これまでの研究により示唆されています。

(4) ワークショップの実施概要

●参加者

ワークショップの目的・性質によって、対象と参加者数を決めます。一人あたり3～5分程度の体験時間を見積もると良いでしょう。

●スタッフ

- ・ファシリテーター：1～2名（進行MCを兼ねる）
- ・進行係：ファシリテーターの補佐、演奏の補助、受付・会場整理に数名

●所要時間

1時間から丸一日、あるいは複数日連続まで、どのような設定も可能です。ワークショップの目的・性質によって時間を設定します。公共スペースや学校・施設等に長時間または一定期間、設置する場合は、施設管理者と相談してください。

●会場

公共施設や商業施設のフリースペース、学校、福祉施設、大型展示会場など、ピアノを安全に設置し、電源が使える屋内が適当です。

(5) 継続的なレッスンの実施概要

●参加者

一人のファシリテーターが1日に対応できる人数として、8名程度と見積もるのが妥当でしょう。他の人のレッスンを見学する半公開形式も好まれます。

●スタッフ

- ・ファシリテーター：1名
- ・運営・進行係：1名、会場設営に数名

●所要時間

1回につきひとり15～30分程度が妥当です。例えば、隔週で4ヵ月間、計8回のレッスンを行えば、3～4曲をマスターすることができます。

●会場

学校、公共施設、介護施設、高齢者施設などでピアノを数ヵ月間、責任をもって保管管理でき、電源が使える屋内が適当です。

(6) 効果

●演奏の楽しさをすべての人に

子どもから大人まですべての人が「だれでもピアノ」で華麗な伴奏付きの演奏を楽しみ、幸せな気持ちを味わうことができます。

●健康増進と福祉の向上

「だれでもピアノ」の自動伴奏機能が上達を加速化するので、障がいのある人や高齢者も自らの上達を実感しやすく、自己肯定感を高めることができます。レッスンの継続が健康増進につながり、福祉の向上に貢献します。肢体不自由の人や軽度認知症の人のリハビリテーション効果も期待されます。

●障がい者の学習意欲の向上と高齢者の生涯教育機会の提供

「だれでもピアノ」は習得が容易で、指一本でも華麗な演奏ができるので、障がい児の学習意欲を向上させます。また、高齢者の生涯教育の機会となり、健康長寿につながります。

●音楽を通じた共生社会実現への寄与

障がい者、高齢者、ピアノ初心者など、だれもがそれぞれに演奏を楽しみ、音楽に親しむことにより、温かく包摂的な共生社会の実現に寄与します。

3 実施詳細

(1) 楽器の準備、楽譜・データ等の手配

- ・ヤマハ株式会社の自動演奏ピアノ「Disklavier™(ディスクラビア)」を準備します。同楽器（グランドピアノ、アップライトいずれも可）が設置された場所を借りる、または楽器をレンタルすることができます。
- ・「disklavier ENSPIRE™」という機種を使用する場合のみ、専用のコントローラーアプリが必要になります。スマートフォンやタブレット端末に「ENSPIRE Controller」をダウンロードします。
- ・楽譜《だれでもピアノ® 1本指から弾ける！贅沢伴奏と楽しむピアノ連弾》（ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス出版）を準備します。
- ・楽譜に掲載されている QR コードから特設ウェブサイトアクセスし、「だれでもピアノ」用データ（midi）をダウンロードし、USBメモリに保存します。
- ・レパートリーは、難易度の低いものから高いものまで全 11 曲（「きらきら星」「ふるさと」「エリーゼのために」「アメイジング・グレイス」等）あります。
- ・USBメモリをディスクラビアのスイッチボックスに挿入し、「ENSPIRE Controller」を使って操作します。

操作方法の詳細は、disklavier ENSPIRE™操作説明書

(https://jp.yamaha.com/files/download/other_assets/6/1341296/enspire_stpro_ja_om_c0.pdf) に掲載されています。

[参考]

- Disklavier™ … 自動演奏ピアノ
 - disklavier ENSPIRE™ … 上記自動演奏ピアノの一機種
 - ENSPIRE Controller … ENSPIRE シリーズ専用のコントローラーアプリ
- ・ピアノの設置が難しい場所での運用も可能です。詳しくは東京藝術大学社会連携課社会連携係（ARTs love ALL プロジェクト事務局）にお問合せください。

(2) ワークショップの準備と実施

●実施6ヵ月前・・・実施概要の企画、広報

会場、規模等の実施概要を立案し、協力団体等を決めます。主催者のホームページ、SNS やチラシで広報を行います。

●実施2ヵ月前・・・参加申込み開始

事前申込み制とする場合には、申込み受付を開始します。個人情報保護に注意してください。

●実施1週間前・・・会場・進行の確認

スタッフにより実施会場の下見を行い、当日の進行、ピアノの設置、電源位置、待機者および観覧者の座席など会場レイアウトを確認します。スマートフォン、タブレット等、「だれでもピアノ」用データ入り USB メモリ、楽譜、レパートリー・リストを準備します。

●実施前日・・・会場設営、調律

時間的余裕をもって会場設営を行い、スタッフ間で進行の最終確認を行います。ピアノの調律を行います。

●イベント当日・・・受付（開始20分前より）

事前申込み制の場合は、名簿と照合して参加者を受け、演奏順（先着順、申込み順など）を伝えます。

不特定多数の来場者を対象とする場合は、アナウンスや通行者への呼びかけを行い、参加を受け付けます。

●イベント当日・・・実施方法

スタッフが参加者をピアノの前に案内し、レパートリー・リストから希望曲を選択してもらいます。ファシリテーターがスマートフォン、タブレット等を操作し、サポートを行いつつ、参加者に実演してもらいます。演奏後には感想を聞くなどコミュニケーションを図ります。

時間内に参加者全員が弾けるよう、一人当たりの時間管理に注意します。

(3) 継続的なレッスンの準備と実施

●準備

- ・会場、日程、規模、対象層など実施概要を決め、共催・協力・協賛団体等の調整を行います。
- ・ファシリテーターを手配し、レッスン内容や進行について打ち合わせます。
- ・募集要項を定め、チラシ・応募用紙を作成して参加者を募るための広報を行います。
- ・レッスンで使用するスマートフォン、タブレット等、「だれでもピアノ」用データ入り USB メモリ、楽譜、レパートリー・リストを準備します。
- ・参加者を選定し、レッスン順を決めて、各参加者に日時と会場を案内します。
- ・修了者による発表会を催す場合は、会場・日程・ゲスト奏者などを決め、手配します。レッスン最終回から数日後に開催するのが適当でしょう。各人の演奏曲が決まったらパンフレットを作成し、あらかじめ参加者に配布します。

●実施

基本的にはマンツーマンでレッスンを行います。前後のレッスン順の人が見学できるようにするのも良いでしょう。

●発表会（場合により追加するのも良いでしょう）

継続的なレッスンの成果として、発表会を催して一人ずつ演奏を披露します。参加者の家族や友人・知人などを招待するのも良いでしょう。演奏後に感想を聞く、最後にファシリテーターが講評を行うなど、コミュニケーションを図ります。

4 現場の声

(1) 参加者の感想

[ワークショップ参加者]

- ・完全伴奏ではなく、弾いたメロディについてきてくれるところが、臨機応変で良かったと思う。
- ・予想よりも機械的過ぎず、まるでこちらの強弱に合わせてくれているような気がした。
- ・演奏が完成に近い形で仕上がるので、ピアノに触れているうちに、もっと練習してより上手に弾けるようになりたいという意欲が湧いてきた。

[レッスン参加者]

- ・4 ヶ月間ずっと、毎日毎日が楽しくてたまらなかった。
- ・ピアノという新しい友達ができ、一人時間を楽しむことができるようになった。
- ・ピアノが生活をいきいきとさせることを初めて実感した。

[特別支援学校の教員]

- ・「ピアノを弾きたい」という動機付けによって、重度障がいの子どもたちが体の動作を自らコントロールすることにつながった。
- ・ピアノの音がするとみんなが周りに集まり、自分から「やりたい」と意思を示すようになった。

[自治体関係者]

- ・「だれでもピアノ」の活用可能性は限りなく広いと思います。シニアの方々の生活を豊かにするきっかけとしても、ニーズと効果が非常に大きいと実感しています。音楽だからこそなした成果は、私たち文化行政に携わる者を大いに励ましてくれました。

(2) スタッフからのワンポイントアドバイス！

●伴奏をよく聴くように声掛けを

初心者は伴奏を聴く余裕を持たずに自分のペースで弾き進めてしまう場合が多いので、伴奏をよく聴いて「だれでもピアノ」とアンサンブルする楽しさを感じてもらえるよう、ファシリテーターから声掛けしましょう。

●適度な演奏のサポートを

「だれでもピアノ」は、楽譜通りにメロディを弾かないと自動伴奏が追従しません。音が抜けたり、鍵盤が反応しないなどの場合は、ファシリテーターが横からさりげなく補助して、音楽が途切れることなく進むようにガイドしましょう。

●接続状況の安定に注意を

専用アプリ「ENSPiRE Controller」を使用する場合、ピアノとの接続が突然切断されたり、不安定になったりすることが稀にあります。接続されない時は、まずはスマートフォン、タブレット等を再起動し、再接続を試みてください。接続が不安定な状態が続く場合は、Disklavier™を再起動してください。

5 過去の実施実績

●2015年

12月5,6日 だれでもピアノ初公開公演 藝大アーツ・スペシャル「障がいとアーツ」(東京藝術大学奏楽堂)

●2017年

9月3日 渋谷ズンチャカ！(渋谷駅マークシティ)

11月11日 2020 超福祉展 (渋谷区・ケアコミュニティ原宿の丘)

●2018年

8月30,31日 JST フェア (江東区・東京ビッグサイト)

10月20日 テレビ朝日福祉文化事業団「五感で楽しむ音楽会」(品川区・きゅりあん)

12月2日 藝大アーツ・スペシャル「障がいとアーツ」(東京藝術大学 Arts & Science Lab.)

●2019年

- 2月18,19日、6月-7月 「だれでもピアノ」効果検証（横浜市立中村特別支援学校）
3月2日 ワークショップ&コンサート「だれでもピアニスト だれでもアーティスト」（横浜みなとみらいホール）
3月21日 「みんなで創ろう夢パーク」（松本市）
8月1日 「だれでもピアノ」効果検証（横浜市ろう特別支援学校）
8月24日 「みんなで創ろう夢パーク」（千曲市）
10月6-20日 横浜音祭り2019「だれでもピアノ」ワークショップ（横浜市・象の鼻テラス）
10月20日 国民文化祭・障害者芸術文化祭にいがた大会（新潟市）

●2020年

- 1月13日 「だれでもピアノ」ワークショップ in 渋谷（渋谷区・Hakuju Hall）
8月6-13日 みなとみらい遊音地「だれでもピアノ」ワークショップ（横浜みなとみらいホール）
9月21日 シニアのレッスンシリーズ プレイベント（横浜市役所アトリウム）
9月26日 「ボンクリ・フェス2020」～藝大COIの部屋「だれでもピアノ」AI版披露（豊島区・東京芸術劇場）
10月29日-2021年1月29日 シニアのレッスンシリーズ（全8回／横浜市市民協働推進センター）

●2021年

- 1月11日 「音と光の動物園」～「だれでもピアノ」ミニワークショップ（渋谷区・Hakuju Hall）
2月14日 シニアのレッスンシリーズ発表会（横浜市役所アトリウム）
5月30日 こどもハッシン！プロジェクト「だれでもピアノ」体験・検証会（横浜市役所アトリウム）
7月8日シニアのレッスンシリーズ説明・体験会（横浜市市民協働推進センター）
7月21日 シニアのレッスンシリーズ説明・体験会（名古屋市・ソーネおおぞね）
8月4日-12月16日 シニアのレッスンシリーズ（全10回／名古屋市・ソーネおおぞね）
8月11日 こどもハッシン！プロジェクト「だれでもピアノ」遠隔演奏披露（横浜市役所アトリウム）
9月4日-11月6日 シニアのレッスンシリーズ（全5回／豊川市・おとわの杜）
9月17日-12月20日 シニアのレッスンシリーズ（全8回／横浜市市民協働推進センター）
10月8日 藝大アーツイン丸の内（千代田区・丸の内ビル マルキューブ）
11月7日 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会（和歌山県紀の川市）
12月8-10日 エコプロ2021（江東区・東京ビッグサイト）
12月25日 シニアのレッスンシリーズ発表会（横浜市役所アトリウム）

（2022年3月現在）